

別記様式第9号（第28条関係）

※ 受理警察署	※ 欄は記載不要(以下同じ)	署
※ 受理番号	受理年月日	年 月 日

服装届出書

警備業法第16条第2項の規定により届出をします。

届出日を記載

令和●年 ●月 ●日

京都府公安委員会 殿

届出者の氏名又は名称及び住所

京都市○○区△△町1番地1

□□警備保障株式会社

代表取締役 都 太郎

フリガナはカタカナで記入し、濁点は1マスに記入する。姓と名は1マス空ける。なお、株式会社は(KK)、有限会社は(コウ)と略記する。

(フリガナ) 氏名又は名称	シカクシカクケイヒ、ホシヨウ(KK)		個人営業の場合は業者氏名、 法人の場合は法人名称を記載
	□□警備保障株式会社		
認定をした公安委員会の名称	京都府公安委員会		
認定の番号	6 1 0 0 0 ● ● ●		
服装	色	型 式	
		別紙のとおり	
	服装、標章の欄が小さいために記載が難しい場合は、別紙に記載する。		
標章	位置	型 式	
		別紙のとおり	
当該服装を用いて行う警備業務の内容		別紙のとおり	

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 「服装」欄には、服装の種類ごとに記載すること。
- 「型式」欄には、図示して記載するものとし、標章については、その大きさを明示すること。
- 「当該服装を用いて行う警備業務の内容」欄には、当該警備業務の具体的な内容及び当該警備業務が海上に及ぶ場合にあってはその旨を記載すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

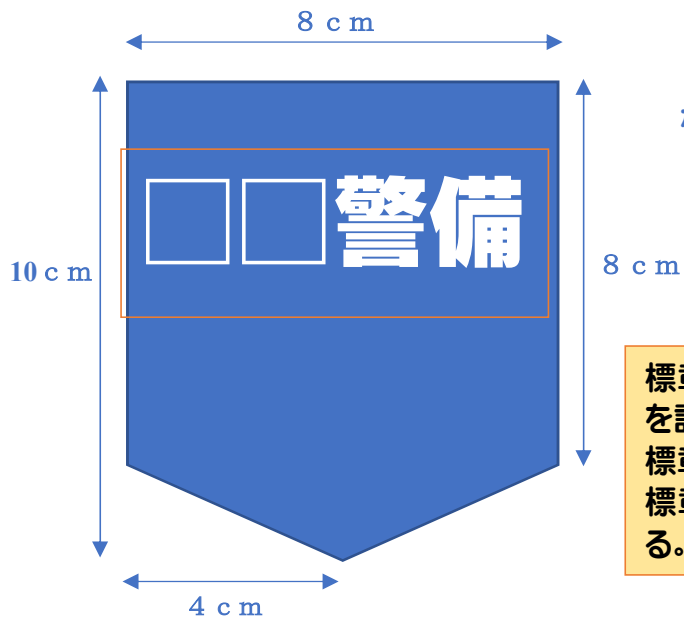
用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

別紙 1

服	色	型	警備業者で制服の管理番号を付与すれば管理しやすい。(●号制服等)
		夏用男子制服(1号制服)	
	白色	帽子(ヘルメット) (右図のとおり)	帽子(ヘルメット)の図を記載
	薄緑色	上衣(右図のとおり) えり=折りえり式さがりえり 肩章=外側の端を両肩の縫目に縫い込み えり側を紺色ボタン1個でとめる。 前面=中央に紺色ボタン5個を1行につける。 左の胸部にポケット1個をつけ、 ふたの中央を黒色ボタン1個でとめる。 そで=長そでとし、両袖の下端部を紺色 ボタン1個で止める。 ネクタイ=濃紺色のネクタイをつける。	上衣(前面・背面)の図を記載 (標章の位置も明記する)
緑色	ズボン(右図のとおり) 長ズボンとし、両脇に斜縦ポケット各1個、 後部両側にポケット各1個をつける。 後部両側ポケットには蓋を付け、その中央を 紺色ボタン1個でとめる。	ズボン(左側・右側等)の図を記載	
標章	位置	型	式
	胸部	右図の形で黒色の地に白色で社名「○○」と記した 標章を、上衣左胸ポケットの中央部に縫いつける。 (寸法図は別紙2のとおり)	標章の図を簡記し、寸法図 (原寸大)を別紙に記載
	上腕部	右図の形で黒色の地に白色で社名「○○」と記した 標章を、左上腕部の上端から約4センチ下に縫いつける。 (寸法図は別紙2のとおり)	標章の図を簡記し、寸法図 (原寸大)を別紙に記載
当該服装を用いて行う 警備業務の内容		道路工事現場で行う交通誘導警備業務	

別紙 2

胸部標章（原寸大）



標章の面積

$$(10 + 8) \div 2 \times 8 = 72\text{cm}^2$$

標章の図（原寸大）及び各部分の寸法を記載する。
標章図は現物のコピーでも可。
標章の面積及び計算式面積を記載する。（面積60cm²以上であること）

上腕部標章（原寸大）

※省略

胸部標章と同様に記載する。

夏用男子制服 (1号制服)

側 面

服装を着用した警備員の全身側面の写真

(無背景、カラー、縦12cm×横8cm)

※横向の貼り付けも可能

正 面

服装を着用した警備員の全身正面の写真

(無背景、カラー、縦12cm×横8cm)

※横向の貼り付けも可能。

